

第1問 国際社会の発展と国際法について、以下の問に答えよ。(20点)

17世紀の30年戦争を終結させたのは、1648年に結ばれた(1)条約だった。それまでのローマ教皇と神聖ローマ帝国の権威が否定され、各民族の宗教的独立を認めて、主権国家が誕生した。以後、複数の主権国家からなる国際社会が成立したのである。

オランダの法学者(2)は著書『(3)』で、戦争には正当な戦争と不当な戦争があり、戦時においても守るべき一定のルールがあることを訴えた。自然法の立場から国際法の必要を強調した彼は、国際法の父とよばれる。

国際法は、(4)に代表される成文国際法と、長年にわたって国家間で(5)として行われてきた(5)国際法とに分けられる。

ドイツの哲学者(6)は、1795年に『(7)』をあらわし、国際平和組織の必要性を訴えた。当時の国際社会では伝統的に、対立している国家間の力が均衡していれば戦争は未然に防止できるという考え方がとられていた。このような考え方を(8)という。しかし、第一次世界大戦の反省から、これとは異なる考え方に基づく組織がつけられた。それが国際連盟である。

国際連盟は、アメリカ大統領ウィルソンの提唱により、1919年のベルサイユ条約によって決定され1920年に設立されたものである。国際連盟は、国際平和の確保、国際協力の促進、紛争の平和的解決を目標とした。しかし、(9)。

問1 (1)～(8)に適切な語を入れよ。

問2 (9)に入る文として最も適切なものを一つ選べ。

- ア.それまで国家利益を第一としてきた国々が、国際組織中心の政策に転換するのは困難だった。
- イ.社会主義国ソ連は参加せず、アメリカが参加したのも日本やドイツの脱退後だった。
- ウ.国際連盟にはイギリス・フランスなどの大国は参加せず、加盟国は第三世界諸国が多かった。

問3 下線部は、「集団安全保障」を指している。その特徴を60字程度で述べよ。

第2問 国際連盟と国際連合を比較した下表の()に適切な語句を記号で選び、問に答えよ。(20点)

	国際連盟	国際連合
本部	(1)	(2)
構成	原加盟国(3)カ国	原加盟国(4)カ国
決議	(5)制	多数決制。(6)理事会には5大国の(7)権あり。
制裁	(8)制裁中心	(9)の武力制裁予定
安全保障	軍縮の達成をめざす	(10)的集団安全保障を認める
活動	軍縮達成できず、日・独・伊の脱退で基盤崩壊	(8)・社会・文化・人道的活動の重視

- (語群) ア.12 イ.42 ウ.51 エ.185 オ.政治 カ.経済
 キ.全会一致 ク.ワシントン ケ.ニューヨーク コ.ジュネーブ サ.ロンドン
 シ.地域 ス.国連軍 セ.拒否 ソ.安全保障 タ.経済社会

問1 国際連合に関する説明文として正しいものに ，誤りに×を記せ。

- (1) 旧植民地がつぎつぎに独立したため，信託統治理事会の役割が増大している。
- (2) 湾岸戦争の際には，特別協定による国際連合軍が武力制裁をおこなった。
- (3) 日本が安全保障理事会の理事国になったことは一度もない。
- (4) 国際司法裁判所における裁判では，判決は拘束力を持たない。
- (5) 国際連合では，10年に一度特別総会が開かれることになっている。

第3問 第二次世界大戦後の国際政治史について，()に入る語句を記号で選んで年表を完成させ，あとの問に答えよ。(25点)

1945年	A <u>第二次世界大戦終結</u>	(語群) ア．鉄のカーテン イ．ベトナム ウ．キューバ エ．ベルリン オ．マーシャル カ．イスラエル キ．トルーマン ク．PLO ケ．朝鮮 コ．アフガニスタン サ．ゴルバチョフ シ．バンドン ス．平和のための結集 セ．イラク ソ．ジュネーブ タ．非同盟諸国首脳 チ．部分的核実験停止 ツ．包括的核実験禁止 テ．対人地雷全面禁止 ト．核拡散防止
1946年	チャーチルの(1)演説	
1947年	(2)ドクトリン，(3)プラン発表	
1948年	(4)封鎖，(5)建国宣言	
1949年	経済相互援助会議，北大西洋条約機構発足	
1950年	(6)戦争，(7)決議	
1954年	(8)会議，B <u>平和五原則発表</u>	
1955年	(9)会議	
1961年	第一回(10)会議	
1962年	(11)危機	
1963年	(12)条約	
1968年	(13)条約	
1973年	(14)和平協定	
1975年	全欧安保協力会議	
1979年	ソ連が(15)に侵攻	
1985年	ソ連で(16)政権発足	
1989年	(4)の壁が崩壊，C <u>冷戦終結宣言</u>	
1990年	(17)がクウェートに侵攻	
1991年	ソ連邦が消滅	
1993年	(5)と(18)の間でD <u>暫定自治合意</u>	
1996年	(19)条約	
1997年	(20)条約	

問1 下線部Aの時期のできごとに関して，正しく説明した文を一つ選べ。

- ア．1941年には大西洋上でダンバートン＝オクス会議が開かれた。
- イ．1944年にはサンフランシスコ会議が開かれた。
- ウ．1945年2月にはヤルタ会談が行われた。
- エ．1945年6月には国際連合が正式成立した。

問2 下線部Bは，アジアの国の首脳二人が会談して確認した。その二人とは誰か。

問3 下線部Cの舞台となった地中海の島国はどこか，その国名をカタカナ3字で答えよ。

問4 下線部Dの対象となった地域は一般に何とよばれるか，次から選べ。

- ア．スロベニア
- イ．スロバキア
- ウ．パレスチナ
- エ．ユーゴスラビア

第4問 日本の外交・近隣諸国との関係について、()に入る語句を記号で選べ。(5点)

1952年に独立回復した戦後日本の外交の原則は、(1)主義、(2)との協調、(3)の一員としての立場の堅持であった。1956年にはソ連との国交を回復した。

現在日本がかかえる国交・領土問題としては、ロシアとの間の(4)問題や、(5)との間の国交回復問題などがある。

(語群) ア．自由主義諸国 イ．社会主義諸国 ウ．第三世界諸国 エ．アジア
オ．国連中心 カ．朝鮮民主主義人民共和国 キ．北方領土

第5問 次の用語をあらわす略語を記号で選べ。(15点)

(1) 政府開発援助 (2) 国連難民高等弁務官事務所 (3) アジア太平洋経済協力会議
(4) 包括的核実験禁止条約 (5) 非政府組織 (6) 国連平和維持活動
(7) 欧州安保協力機構 (8) 国連カンボジア暫定統治機構 (9) 国際労働機関
(10) 世界保健機関 (11) 経済相互援助会議 (12) 北大西洋条約機構
(13) ヨーロッパ連合 (14) 戦略兵器削減条約 (15) パレスチナ解放機構

(語群) ア．APEC イ．COMECON ウ．CTBT エ．EU オ．ILO
カ．NATO キ．NGO ク．ODA ケ．OSCE コ．PKO サ．PLO
シ．START ス．UNHCR セ．UNTAC ソ．WHO タ．WMO

第6問 以下はセンター試験過去問である。慎重に解答せよ。(15点)

問1 国連平和維持活動の、冷戦期における典型的な活動についての記述として最も適当なものを、次から一つ選べ。

- ア．非武装の文民を中心として構成された。
- イ．派遣先国の近隣諸国からの要員を中心として構成された。
- ウ．国連の専門機関による勧告に基づいて派遣された。
- エ．紛争当事国の同意を得て派遣された。

問2 1970年代末のインドシナ難民救援活動に関連した世界および日本の動きについての記述として最も適当なものを、次から一つ選べ。

- ア．難民の保護と救援にあたる国連の活動の中核となったのは、国連児童基金であった。
- イ．難民の受け入れは各国に課された国際法上の義務であり、各国は国連の決定した割り当てに応じて難民を受け入れた。
- ウ．日本は出入国管理法制を改めて、難民の受け入れと国内定住を受け入れるようになった。
- エ．難民受け入れに伴う国内法制の整備の結果、日本に受け入れられた難民には地方参政権が認められた。

問3 女性の経済的社会的地位の向上に関連した世界および日本の動きについての記述として**適当でないもの**を、次から一つ選べ。

- ア．国連主催の国際婦人年世界会議は、男女差別の撤廃や国際平和への女性の寄与をうたって宣言を採択した。

イ．国連総会で採択された女性差別撤廃条約は，締約国に男女差別の撤廃のため努力することを義務づけた。

ウ．日本では，採用・昇進・定年などの雇用面での男女差別の解消を目指して，男女雇用機会均等法が制定された。

エ．日本では，女性保護の徹底をはかるために労働基準法が改正され，女性の時間外労働や休日労働が禁止された。

問4 民族紛争や地域紛争に関する記述として最も適当なものを，次から一つ選べ。

ア．東ヨーロッパにおける社会主義体制の崩壊後，この地域での民族独立の動きが急激に高まった。

イ．冷戦の終結は，アフリカにおけるソ連の影響力を失わせ，この地域の植民地独立運動を激化させた。

ウ．民族紛争が宗教を伴う場合，国連は，特定宗教を支持することを避けるために介入を控えてきた。

エ．民族紛争の多くは内戦という形で起こるので，国連は内政不干渉の原則に基づいて介入を控えてきた。

問5 NGOについての記述として正しいものを，次から一つ選べ。

ア．NGOの活動は，本来的には国際連合の指揮の下に行われることになっている。

イ．NGOの中には，国際連合と密接な協力関係を持っているものもある。

ウ．NGOの活動は，社会経済問題に限定されており，安全保障の問題に関与することは禁じられている。

エ．NGOの多くは，主に世界銀行が供与する資金によって運営されている。